

首都圏対象「つるが」プロモーション業務委託
公募型プロポーザル審査結果について

1 委託業務の名称

首都圏対象「つるが」プロモーション業務委託

2 選定した委託予定事業者

株式会社 福井新聞社

3 公募期間

令和5年4月28日から令和5年5月25日まで

4 審査委員会による審査の概要

(1) 審査委員名簿（敬称略）

委員氏名	役職等
織田 一宏	敦賀市 観光部長
池田 裕太郎	(一社) 敦賀観光協会 会長
奥井 純子	敦賀商工会議所 専務理事
藤村 弘明 (代理 大野 真一)	敦賀市 企画政策部 秘書広報課長 (同 課長補佐)
畠 準史	(公社) 敦賀青年会議所 理事長 ※新幹線敦賀開業まちづくり推進会議推薦

(2) 審査委員会の開催日

令和5年6月5日

(3) 審査基準

No	審査項目		審査基準	配点
1	敦賀市及び事業目的に対する理解度		・本市の現状、課題、業務目的及び内容に対し十分な知識と理解を有し、仕様書の趣旨に沿った内容であるか。	10
2	同種・類似業務の実績	実績の有無	・過去約5年間に地方自治体等のプロモーション業務及び本業務に類似する業務の受注実績があるか。 ※共同事業体で提案する場合は、代表構成団体だけでなく、その他構成団体も含むものとする。	5
		受注実績における成果	・過去の受注実績における業務の成果として、対象地域におけるメディア露出件数の増加等の効果があったか。 ・実績がない場合、提案内容は成果を期待できるか。	5
3	業務内容に関する企画提案	首都圏等と市内の連携した広告掲出	・首都圏等と市内において同等程度の広告掲出になっているか。 ・提案の広告手段で本業務の目的を達成可能か。 ・提案の広告手段を選定した理由が合理的か。	20
4		「つるがPRブース」出展	・提案のイベント等は本業務の目的に合致するものか。 ・提案内容により、市民間の交流創出が期待できるか。	10
5		出向宣伝時に活用するグッズ	・提案のグッズに本市ならではのストーリーが盛り込まれているか。 ・本市を知らない出向宣伝先の方に対し、立ち止まってもらえるような話題性があるか。	10
6		メディア誘致活動	・提案の活動内容について、目標達成が期待できるか。 ・誘致先のメディアは本市の認知度向上に効果的か。	15
7		リリース配信サービス	・提案内容により、本市のWEB上における露出拡大が期待できるか。	5
8	事業実施体制		・業務実施にあたり、的確な人員、組織体制が整備されているか。 ・責任者の位置付けや役割が明確であるか。	10
9	見積額		・提案上限額以下か。 ・適正かつ必要最低限度の見積額となっているか。	10
			合 計	100

5 参加者

首都圏対象「つるが」プロモーション業務委託公募型プロポーザル募集要項に基づき4者が参加しました。

6 審査結果

審査結果は以下のとおりです。

(1) 評点 (順不同)

会社名	評点	平均点
株式会社 福井新聞社	351	70.2
A	320	64.0
B	314	62.8
C	297	59.4

- ・ 審査委員1人あたり100点満点
- ・ 平均点が60点以上、かつ、5人の評点合計が最も高い者を委託予定事業者として決定しました。

(2) 審査講評

- ・ ターゲット設定とリンクする雑誌をベースにした展開、独創的な企画、データ分析を活かした提案など、それぞれの事業者が特色を活かした提案であった。
- ・ その中でも、本業務の趣旨である「一過性ではなく継続的な来訪者増加」をよりの確に捉えた委託予定事業者の提案が優位に評価された。
- ・ 全般的に、つるがPRブースに関する提案がややぼやけているように感じたが、今後の事業実施に向けては継続的な相互交流が生み出せるよう、よく協議して進めていただきたい。
- ・ グッズ制作に関しては、委託予定事業者の提案が本市の特色を活かしたうえで工夫が凝らされており高い評価を得たが、配布して終わりではなく、どんな人が手に取ったのかなどを分析し、今後に活かせるとより良い。
- ・ 北陸新幹線開業に向けて首都圏等へプロモーションを行っていることを市民が分かっていないとものたないないので、何をしているかをしっかりと市内にも伝られる事業となることを期待する。

7 担当部署 敦賀市観光部新幹線誘客課

〒914-8501 福井県敦賀市中央町2丁目1番1号

TEL 0770-22-8241